

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	土壌水分を考慮した斜面監視システムの実装
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 近畿地方整備局 近畿技術事務所長 達家 養浩 大阪府枚方市山田池北町11-1
契約締結日	令和 2年 8月27日
契約の相手方の氏名及び住所	国立大学法人京都大学
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥7,000,000-
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥7,000,000-
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、道路ネットワークの信頼性を向上させるために、異常気象時事前道路通行規制区間における土壌水分量指数に着目し、地域に合った斜面危険度評価手法の確立により、より精緻な斜面監視システムの構築を行うものである。</p> <p>また本業務は、第三者機関である「新都市社会技術融合創造研究会」が産・学・官の連携・協力を図るべく、大学等を対象に道路に関する研究テーマを公募し、上記法人に所属する研究者が応募したものである。本業務は、公募課題「新たな事前道路通行規制のあり方に関する研究」に対して提案され、同研究会において審査した結果、課題解決性、新規性・将来性、実現可能性が優れていたため、研究テーマとして令和元年6月に特定され、令和3年度までの研究が承認されている。</p> <p>以上のことから、当該研究テーマを提案した上記法人と契約を行うものである。</p>
備 考	